

ユニタール青少年大使



ユニタール青少年大使に任命され、メヒヤ所長と握手する佐々木さん（右）と竹内さん

国連訓練調査研究所・ユニタール（UNITAR）広島事務所は、様々な企画や活動への参加を通じて国際的視野を養う初の「ユニタール青少年大使」に、広島市立基町高1年の佐々木大樹さん（16）（尾道市）と、同市立舟入高2年の竹内百合さん（17）（広島市中区）を選び、任命式を行った。

佐々木さん、竹内さん初任命

青少年大使は、平和の構築や国際関係に熱意を持って取り組む次世代の人材を養成しようと、地域貢献を重視する同事務所のアレクサンダー・メヒヤ所長らの発案で、県内の高校生を対象に今年初めて募集した。

1次選考の英作文で14校から46人が応募、面接などを経て2人を選んだ。任命式で佐々木さんは「同世代の意識を高め、力を合

わせていきたい」といい、竹内さんは「一生懸命頑張る、将来も国際貢献の仕事に就きたい」と抱負を語った。

任期は来年6月末までの9か月間。同事務所が提供するアフガニスタン奨学プロジェクトのほか、国際会議などの企画に参加したり、政府機関などに若者代表としてメッセージを伝達したりする。

ユニタールは開発途上国や紛争後の国や地域で、政府関係者や市民団体の代表者を対象に、経済発展や社会資本整備に向けた研修などを実施。2003年からアジア太平洋地域広島事務所を広島市に置いて

平和外交担う次世代育成

23 October 2010, Yomiuri Shimbun
UNITAR has launched the "UNITAR Youth Ambassador Programme" this year and two high school students were selected as the Ambassadors in 2011.